

平成23年度 社団法人 日本社会福祉士会  
**第19回 近畿ブロック研究・研修  
大阪大会**

生活の再生を支援する社会福祉士を目指して  
～近畿からのメッセージ～

**開催のご案内**

とき：平成24年1月28・29日

会場：ビッグ・アイ障害者国際交流センター

平成23年度 社団法人 日本社会福祉士会  
第19回近畿ブロック研究・研修 大阪大会  
開催要項

大会研修テーマ

生活の再生を支援する社会福祉士を目指して  
～近畿からのメッセージ～

開催趣旨

われわれ社会福祉士は、日々社会福祉の向上を目指し、支援を必要とする方々と真摯に向かい合いながら、不安や課題解決に向けての実践を着実に積み重ねてきています。

激変する社会情勢下で、生活と福祉を取り巻く環境の先行きが大変見えにくく、その福祉ニーズも多様化しています。

そのような中、3月11日に発生した東日本大震災は、わが国の生活の価値観はおろか死生観をも揺るがす大きな災害となり、改めて人と人とのつながりの重要性が大きくクローズアップされました。そうしたソーシャルワークの担い手として、社会福祉士には、相談援助に軸をおいた対人援助活動に加え、他職種との連携や社会への働きかけなどが重要な職責として求められています。

本研修会では、東日本大震災後で今起こっている現実を1995年の阪神淡路大震災の支援にかかわったソーシャルワーカーたちと検証するシンポジウムに加え、各会員が個々に日々の実践を振り返り、その中で見えてくるものを検証した研究・実践報告をしていくことで、地域・社会に必要とされる魅力ある社会福祉士像について、あらためて見つめなおす機会にすることを目的に開催します。

開催日 平成24年1月28日(土)・29日(日)

会場 ビッグ・アイ障害者国際交流センター  
590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1  
TEL:072-290-0900 FAX:072-290-0920

参加定員数 300名

参加対象者 社団法人 日本社会福祉士会会員および一般参加者

主催 社団法人 日本社会福祉士会 近畿ブロック研修大会運営委員会

後援(予定) 大阪府、堺市

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会  
社会福祉法人堺市社会福祉協議会  
社団法人 日本社会福祉士養成校協会近畿ブロック

## 日 程 (案)

### 【1日目】1月28日(土)

11:30～	受付
12:00～12:20	開会式挨拶(主催者/来賓挨拶)
12:20～14:40	シンポジウム 『被災者支援からみたソーシャルワークの意義 - 阪神・淡路及び東日本から学ぶ今後の復興支援の展望 』 シンポジスト 阪神淡路大震災及び東日本大震災支援経験者より3名 コーディネーター 桃山学院大学社会学部社会福祉学科 准教授 松端 克文 氏
15:00～17:00	休憩 分科会開始 第1分科会「生きる力を見守り、育む地域支援の展開」(兵庫県支部) 第2分科会「生きる力を支え、まもる権利擁護の取り組み」(京都支部) 第3分科会「これからのソーシャルワークの指針となる実践研究」(大阪支部) 1日目終了
17:30～19:00	交流・情報交換会 (軽食、テーマ別交流等)

### 【2日目】1月29日(日)

9:00～	受付
9:30～11:30	分科会開始 第4分科会「生きる力を育む実践を支え、導くためのマネジメント」(滋賀県支部) 第5分科会「生きる力を支え、育むソーシャルワークの実践」(和歌山県支部) 第6分科会「生きる力を見出し、支える生活への理解と支援」(奈良県支部)
13:00～14:20	新生涯研修制度と認定社会福祉士の概要 (社)日本社会福祉士会 副会長 鈴木智敦 氏
14:20～14:40	新基礎研修の概要 (社)日本社会福祉士会 新基礎研修担当 前嶋 弘 氏
15:00～15:50	記念講演 演題:『健康な心が人間関係をつくる～笑いのプロが伝えるコミュニケーション術～』 講師:三代目 桂 春蝶 氏
15:50	休憩 閉会の挨拶(次回開催地)

各分科会については発表形式となっており、また日本社会福祉士会共通基盤研修の「6領域」に充当できるよう対応しています。

【テーマ】『被災者支援からみたソーシャルワークの意義

- 阪神・淡路から学ぶ今後の復興支援の展望 』

社会福祉士会がジェネリックソーシャルワークを志向し始めたきっかけが1995年の阪神淡路大震災の経験でした。その後多様化・高度化するニーズに対応できるソーシャルワークへの期待が一段と高まってきました。その中で今年3月11日東日本大震災が起こり、今も生活そのものが困難な状況にある人が多くいます。

本シンポジウムは、われわれ社会福祉士自らが困難な状況にどう支援できるのか、様々な社会資源、マンパワー、ネットワーク、制度、施策からその可能性を探るとともに、社会福祉士としてのアイデンティティが再認識されることを目的にしています。

【シンポジスト】

**関川 雅世 氏**

(せきかわ まさよ)

梅花女子大学 職名, 講師, 所属, 現代人間学部 人間福祉学科. 最終学歴, 大阪教育大学大学院教育学研究科 修士.

所属学会, 日本 介護福祉学会 日本社会事業大学社会福祉学会.

社会福祉士(大阪支部) 阪神・淡路大震災時の支援経験。東日本大震災でも積極的に支援に携わっている。

**梶間 聖子 氏**

(かじませいこ)

社会福祉士(大阪支部) 阪南市役所 25年目、阪神・淡路大震災時の支援経験。東日本大震災支援にも参加する。

**岡本 和久 氏**

(おかもと かずひさ)

大阪生まれ。社会福祉士。

(職責)

大阪府立大学社会福祉学部卒業後、1991年神戸市入庁。生活保護、老人福祉ケースワーカーを担当。1995年の阪神・淡路大震災経験後、1996年より保健福祉局地域福祉課にて、ボランティアセンターの立ち上げ、仮設住宅、復興住宅での地域見守り活動等に従事。

2001年～2003年、厚生労働省老健局計画課に出向し、在宅福祉担当。

2003年～2007年、保健福祉局高齢福祉課、介護保険課にて在宅福祉・介護予防担当係長。

2007年～2009年、神戸市灘区保護課係長。

2009年4月から、神戸市こども家庭センター 児童虐待担当係長。

(兵庫県社会福祉士会)

1992年より兵庫県社会福祉士会理事、2008年より副会長。

(学識経験)

2005年～2009年、神戸親和女子大学非常勤講師、2006年～2009年、神戸女学院大学非常勤講師(地域福祉論、コミュニティワーク論担当)

(著書)

共著：社会福祉援助技術現場実習(あいり出版)2008年

共著：相談援助技術の発見(あいり出版)2009年

共著：事例中心で学ぶ相談援助演習(みらい)2010年

【コーディネーター】

桃山学院大学社会学部社会福祉学科 准教授 松端 克文(マツノハナ カツミ)氏

専門は「地域福祉論」と「社会福祉サービス論」。

地域を舞台に、地域発で、「自治」的に私たちがより暮らしていきやすいような社会に変えていくことができるような地域福祉の方法論を研究中。

著書

編著『よくわかる地域福祉(第4版)』ミネルヴァ書房、2010

単著『障害者の個別支援計画の考え方・書き方』日総研出版、2004

編著『松江市の地域福祉計画』ミネルヴァ書房、2006

分担執筆『地域福祉計画』有斐閣、2005

分担執筆『地域福祉論 地域福祉の理論と方法』へるす出版、2009

分担執筆『社会福祉援助の共通基盤(第2版)下』中央法規出版、2009 など

大阪が送る笑いの福祉 記念講演 1月29日(日)

【演 題】『健康な心が人間関係をつくる～笑いのプロが伝えるコミュニケーション術～』

【講 師】三代目 桂 春蝶 氏

## 分科会（実践・事例発表）テーマ

- 各分科会とも発表形式（4発表程度）により行います。
  - 本研修は日本社会福祉士会共通基盤研修の「6領域」に充当できるよう対応しています。
  - 発表者（一人発表15分程度）を24名程度募集します。
- 尚、発表申込に関する詳細については、必ず7頁の申込要領をご参照のうえ、お申込下さい。

**日頃の皆様の実践（取り組み）から、活発なディスカッションができる場にしたいと考えますので、奮ってお申込下さい。**

**【1月28日（土）】**

### 第1分科会『生きる力を見守り、育む地域支援の展開』 兵庫県支部

<p>ソーシャルワークの現場では、個人や家族の支援を軸に、それらを取り巻く環境や地域に働きかけ、理解や参加を促しながら生活を支援する視点が求められている。地域支援の実践を通して、社会福祉士としての課題と方向性を見出したい。</p>	
発表例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターにおける社会福祉士の役割</li> <li>・現行の福祉制度における地域福祉の課題</li> <li>・独立型社会福祉士事務所の実践</li> <li>・社会資源の活用とネットワーク形成</li> <li>・地域での自立生活支援へ向けた取り組み</li> </ul>
<p>日本社会福祉士会共通基盤研修領域：地域支援</p>	

### 第2分科会『生きる力を支え、まもる権利擁護の取り組み』 京都支部

<p>人権の擁護及び社会正義の原理は、ソーシャルワーク実践の基盤であり、利用者主体の支援を展開する原点でもある。地域における権利擁護実践を通して、社会福祉士が真に利用者の権利擁護を推進するための課題と役割について考える。</p>	
発表例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度・日常生活自立支援事業の課題と展望</li> <li>・専門職としての権利擁護への取り組み</li> <li>・D や虐待ケースの援助実践</li> <li>・オンブズマン制度実践の取り組み</li> <li>・権利擁護実践への住民参画の取り組み・推進</li> <li>・権利擁護実践にかかわる他職種との連携の現状と課題</li> </ul>
<p>日本社会福祉士会共通基盤研修領域：権利擁護</p>	

### 第3分科会『これからのソーシャルワークの指針となる実践研究』 大阪支部

<p>社会福祉士としてより質の高い支援を提供していくために、自らの実践を振り返ってそれらを評価・検証し、研鑽を繰り返すことは社会福祉士の力量形成に不可欠なプロセスである。さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を通じて、今後の援助活動の方向性を検証する。</p>	
発表例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカーにおける社会福祉士としての実践</li> <li>・社会福祉士養成教育における実習指導の現状と課題</li> <li>・現場でのスーパービジョン等研修体系に関する実践報告</li> <li>・災害ボランティア等における社会福祉士の取り組み</li> <li>・出所者支援における社会福祉士の取り組み</li> <li>・犯罪被害者支援における社会福祉士の取り組み</li> </ul>
<p>日本社会福祉士会共通基盤研修領域：実践研究</p>	

## 【1月29日(日)】

### 第4分科会『生きる力を育む実践を支え、導くためのマネジメント』 滋賀県支部

政治経済等の社会情勢を取り巻く大きな変動の波と併せて、社会福祉を巡る制度環境も大きく変革している。多様化する社会の中で、社会福祉諸活動を担う社会福祉法人をはじめとした各種法人が、その役割を検証しながら地域を支える組織としての福祉経営について考える。

- |     |  |
|-----|--|
| 発表例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の福祉制度における各種法人の経営の現状と課題</li> <li>・ 介護サービス分野での各種法人による活動の実態と課題</li> <li>・ 人材育成・人事考課と職場管理の取り組み</li> <li>・ 職場における業務改善の取り組み</li> <li>・ リスクマネジメントの現状と課題</li> <li>・ 外国人労働者および緊急雇用対策における失業者の介護労働市場への参入における課題</li> <li>・ これからの公益法人のあり方と経営実践の取り組み</li> </ul> |
|-----|--|

日本社会福祉士会共通基盤研修領域：福祉経営

### 第5分科会『生きる力を支え、育むソーシャルワークの実践』 和歌山県支部

個人の持つ福祉ニーズに多様化と複雑化がみられており、それらの問題を解決に導く社会福祉士としての取り組みにもさまざまな相談援助アプローチが求められる。相談援助の実践を人権擁護の視点から考える。

- |     |  |
|-----|--|
| 発表例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多問題家族や援助困難事例に対する取り組み</li> <li>・ 援助に消極的な要支援者への関わりと支援</li> <li>・ 支援ニーズに対する専門職としての取り組み</li> <li>・ 滞日外国人等の生活問題への対応</li> </ul> |
|-----|--|

日本社会福祉士会共通基盤研修領域：相談援助

### 第6分科会『生きる力を見出し、支える生活への理解と支援』 奈良県支部

今日、個別的で複雑化する個々人の生活問題や生活課題を理解するために、社会福祉士には生活を構造的・機能的にとらえることのできる力量が求められている。また、顕在化している問題だけでなく、生活の全体像を把握し、問題の背景や解決後の生活の在り方も含めた支援の視点も重要である。個人と生活環境とのかわりを見据えながら生活問題・課題をどのように捉えていくかについて考える。

- |     |  |
|-----|--|
| 発表例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低所得者・失業者等が抱える貧困問題への取り組み</li> <li>・ 生活問題の重層化・長期化への取り組み</li> <li>・ 生活問題解決へのケアマネジメント支援の実践</li> <li>・ ニートや引きこもりなど若年者の生活問題と地域での取り組み</li> <li>・ ホームレス問題や新たな生活問題への構造的理解</li> </ul> |
|-----|--|

日本社会福祉士会共通基盤研修領域：生活構造

平成23年度 (社)日本社会福祉士会 近畿ブロック研修会 大阪大会

分科会発表申込要領

下記の要領で分科会の発表者を募集します。奮ってお申し込みください。

発表資格	(社)日本社会福祉士会会員に限ります。 会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはかまいませんが、発表者は会員に限ります。 分科会発表採用者は、近畿ブロック研修会の参加申込をしてください。
申込数	一人一発表です。 <u>既に他学会等で発表したものと全く同じ内容の発表はご遠慮願います。</u> (本会支部における学会等での発表は除く)
申込様式	様式1「分科会発表申込書」(9頁)に必要事項を記入してください。 <a href="http://www.oacsw.or.jp/">http://www.oacsw.or.jp/</a> からダウンロードも出来ます。
申込	〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内 (社)大阪社会福祉士会 大会運営事務局 TEL: 06-4304-2772 FAX: 06-4304-2773 E-mail: ofuku@mx1.alpha-web.ne.jp 郵送、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。
締切	郵 送 : 平成23年10月28日(金) 消印有効 FAX・e-mail : 平成23年10月28日(金) 必着
審査	・申込数・内容等を勘案・審査し採否を決定の上、申込者に個別に通知いたします。 ・採用にあたっては、実践にもとづく発表を優先することがあります。 ・内容等については、大会運営委員会が助言をする場合があります。 ・採用数が定数に満たない場合、追加募集する場合があります。
採用	採用数: 約24発表程度(各分科会4発表程度) 発表分科会は、原則として申込者の希望を優先しますが、 <u>テーマ・内容・応募数を勘案し、他の分科会で発表をしていただく場合があります。</u>
レジュメ提出	様 式: 様式2(10頁)に従ってレジュメを作成してください。( <u>申込時にレジュメ提出はありません</u> )。提出されたレジュメはそのまま版下原稿として使用しますので、ワープロ等で作成した鮮明な原稿を提出してください。 提出先: (社)大阪社会福祉士会 大会運営事務局 期 日: 平成23年11月28日(月) 必着 期日までに提出されない場合には、採用を取り消し、発表を認めません。 時 間: 発表15分程度にまとめてください。
発表	機 材: スライド、OHP、VTRは使用できません(データプロジェクターのみ用意する予定)。 データやイメージ資料として使用したい場合はレジュメに入れていただくか、印刷の上、当日資料としてご準備いただくこととなりますのでご了承ください。 資 料: <u>当日配布する資料がある場合は、必ず事前にご連絡下さい。</u>



様式1 平成23年度(社)日本社会福祉士会 近畿ブロック研修会 大阪大会 分科会発表申込書

ふりがな	支 部 名 :
氏名	会 員 番 号 :
所属先名称	職 種 また は 役 職
連絡先(自宅・勤務先)	
住所:〒	
TEL:( ) 携帯:( ) FAX:( )	
e mail【携帯除く】:	
発表テーマおよび発表内容の概要(注1)	
テ - マ :	発表希望分科会:第
分科会	
共同研究(発表)者:	
研究目的:	
研究方法:	
結論(まとめ):	
同様のテーマでの発表履歴:	
プロジェクター使用の有無:有・無	
大会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項	

\* (注1)の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください(特に結論部分)。

様式2 (レジュメの書式)

テーマ			
支部名	支部	会員番号	
所属先名・職種(職名)			
発表者氏名			
(共同研究者氏名)			

**レジュメの作成上の注意**

1. レジュメの様式は原則A4(縦長)2枚以内とします。必ず「Microsoft Office Word」で作成の上、上記様式を先頭ページの頭部につけて、発表申込要綱(7項)にある宛先までお送りください。本文の体裁・字数等は自由としますが、印刷の都合上、左右の余白を30ミリ、上下の余白を25ミリ以上空けてください。  
提出されたレジュメはそのまま版下原稿として使用しますので、パソコン等で作成した鮮明な原稿を提出してください。  
発表申込時には、レジュメの提出は必要ありません。
2. その他の注意事項
  - 1) 業務の内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
  - 2) 事例に関する個人情報の保護・人権擁護につきましては、発表者が十分ご配慮くださいますようお願いいたします。
  - 3) 文体は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
  - 4) 査読の結果、書き直しをお願いすることもありますので、ご了承ください。
  - 5) 原稿などは一切返却いたしません。
  - 6) 発表の際、スライド、OHP、VTRは使用できません(データプロジェクターのみ用意する予定)。データやイメージ資料として使用したい場合はレジュメに入れていただくか、印刷の上、当日資料としてご準備いただくこととなりますので、必ず事前にご連絡下さい。
  - 7) 発表していただく分科会は、テーマ、内容、応募者数により変更いただく場合があります。

## 申込方法

申込書(最終頁)に必要事項をご記入の上、下記までFAX/郵送/メールにて、お申込下さい。(申請書は<http://www.oacsw.or.jp/>よりダウンロード出来ます)

1. 申込締切日 **平成23年12月19日(月)**
2. 大会参加・交流会費について  
大会参加費 会員：6,000円 / 会員外：8,000円(学生3,000円)  
交流会費 一人：700円(定員100名)  
交流会は、大会会場同館内において、軽食やテーマ別交流を予定していますので、是非お気軽にご参加下さい。
3. 大会参加証及び請求書等の送付  
申込受付後に、参加証及び請求書(入金手續のご案内)を申込代表者宛てに郵送致します。(入金を確認できた時点で、正式な受付と致しますのでご了承下さい。)
4. お支払方法(銀行振込)について  
入金手續のご案内を受け取り後、平成24年1月23日(月)までに指定銀行にお振込下さい。(ご入金後は、原則として返金できませんのでご了承下さい。)
5. 宿泊について  
宿泊の手配は事務局では行いませんので、恐れ入りますが各自でお申込をお願い致します。会場近くのホテル

### 《申込・問い合わせ先》

社団法人 大阪社会福祉士会 大会運営事務局

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号

TEL : 06-4304-2772 FAX : 06-4304-2773

E-mail : ofuku@mx1.alpha-web.ne.jp

平成23年度 (社)日本社会福祉士会 近畿ブロック研修会 大阪大会 参加申込書  
 [再送の場合はいずれかに 印を付けて下さい] 追加・変更・取消

申込代表者氏名	<input style="width: 95%;" type="text"/>	フリガナ	<input style="width: 95%;" type="text"/>
勤務先名	<input style="width: 95%;" type="text"/>	種別 分野	<input style="width: 95%;" type="text"/>
書類送付先住所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒 <input style="width: 20%;" type="text"/> - <input style="width: 20%;" type="text"/> <input style="width: 20%;" type="text"/> 都道府県 <input style="width: 20%;" type="text"/> 市区郡 <input style="width: 20%;" type="text"/>		
連絡先	TEL <input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/>	FAX	<input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/>
	携帯 <input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/> - <input style="width: 15%;" type="text"/>	e-mail	<input style="width: 95%;" type="text"/>

No.	フリガナ 参加者氏名		性別	所属支部等 勤務先種別	会員・一般 会員番号	1/28分科会		1/29分科会		交流	記念	合計金額
	第1希望	第2希望				第1希望	第2希望					
例	オオサカ	タロウ	男	大阪府	① 会員・一般 10***	第 2	第 1	第 5	第 4			6,500
1					会員・一般	第	第	第	第			
2					会員・一般	第	第	第	第			
3					会員・一般	第	第	第	第			
4					会員・一般	第	第	第	第			
5					会員・一般	第	第	第	第			

通信欄（手話通訳の必要な方、車椅子ご利用等の配慮を必要とされる方はその旨お書き下さい。）

6名以上でお申込みの際は、お手数ですがコピーをとってご使用下さい。  
 FAXされる場合は、送信票は不要です。

金額総合計

円

**申込締切 平成23年12月19日(月)**

(社)大阪社会福祉士会 大会運営事務局  
 TEL:06 4304-2772 FAX:06-4304-2773 E-mail:ofuku@mx1.alpha-web.ne.jp

事務局 記入欄	受付番号	受付日	入力日	発送日	処理日
------------	------	-----	-----	-----	-----

## 堺市コンベンション開催補助金交付制度のご案内

堺市では、コンベンションの誘致を促進し、本市地域経済及び文化の振興を図るため、コンベンション開催補助金交付制度を実施しています。この制度は、堺市内で一定規模以上のコンベンションを開催される方に対して、開催にかかる費用の一部を補助するものです。

補助対象となる

- ①本市の地域経済・文化の発展に資するものであること。
- ②本市が主催者からの参加費があること。
- ③参加者が100人以上であること。
- ④主催者の活動・目的が活動・目的を目的とするものでないこと。
- ⑤全国・地方自治体などが主催・共催するものでないこと。
- ⑥当該補助金以外に本市から補助金などの交付がないこと。
- ⑦当該事業が実施し、その中で発生すること。

### 補助金額

コンベンションの開催日の前日から終了日までの期間において、堺市内の宿泊施設に宿泊したコンベンション参加者の宿泊宿泊者数に応じて決定します。 ※ただし、コンベンション開催費の20%以内を限度とします。

宿泊者数	補助金額	宿泊者数	補助金額
50～199	100,000円	600～699	350,000円
200～299	150,000円	700～799	400,000円
300～399	200,000円	800～899	450,000円
400～499	250,000円	900～999	500,000円
500～599	300,000円	1,000～	600,000円

## 堺観光周遊バス助成制度のご案内

堺観光コンベンション協会では、堺市内への観光インテナーを呼び込み、そのニーズを調査することや目的として、堺観光周遊バス助成制度を実施しています。この制度はバスを借り上げて堺市内の観光関連施設を周遊する団体に対して、その費用の一部を助成するものです。

### 助成金額

バス1台につき、バス往来費用(消費税除く)の定額の1/3以内を助成します。ただし、定額の上限は50,000円、日帰りの場合は30,000円をバス1台当たりの上限とします。

交付要件

- ①10人以上の団体(堺市内の学校など)に限ること。
- ②3時間以上堺市内を周遊すること(始発及び終点は堺市内でなくてもよい)。
- ③使用車両は、民間(市町村以外の交通事業者)が貸し出すバスであること(レンタカーは除く)。
- ④堺市内で運行するが、日帰りの場合は堺市内のみまたは堺市外まで直帰すること。
- ⑤1ヶ所以上の堺市観光施設(上乗車施設あり)と、堺市実行のマップなどで解説・案内されている施設を合わせて3ヶ所以上を訪問すること。
- ⑥当該助成の申請書に添付するアンケート調査の結果を提出すること。

## 交通アクセス

大分県は観光の拠点の育成です。乗り換え、乗り継ぎは簡単です。



お車でお越しの方  
 関西交通 → 大井(堺)IC ……約30分  
 USJ → 大井(堺)IC ……約15分

各種ツアー・コンベンション・観光周遊バス申請に関するご質問は、**堺協会 プロモーションチーム** までお気軽に。TEL:072-233-8601 FAX:072-233-8448 E-mail:pr@seikai-tob.or.jp

## 堺市内ホテル収容人数一覧

部屋の種類	住所	電話番号	シングル	シングル 広め	ツイン	ダブル	トリプル	洋室 (4名)	和室 (2名)	和室 (3名)	和室 (4名)	和室 (5名)	和室 (8名)	和洋室 (5名)	スイート	総客室 数	総収容 人員
ホテル																	
シティホテル青雲荘	堺区出島海岸通2-4-14	072-241-4545	56	8	18				4	8						94	132
リーガロイヤルホテル堺	堺区戎島町4-45-1	072-224-1121	73		142	22									4	241	409
ホテルサンルート堺	堺区少林寺町西1-1-1	072-232-0303	51		20	3	2								1	77	102
シティホテルサンブラザ	堺区竜神橋町1-1-20	072-222-6633	85	76	46			1	1				2	2	2	215	284
ホテル第一堺	堺区南向陽町2-2-25	072-222-8000	18		12	4					1				3	38	60
臨海ホテル(北店)	堺区出島浜通6-2	072-247-1111	20	62	122		6					46				256	528
臨海ホテル(石津店)	西区浜寺石津町西2-4-10	072-244-0115	57	25	45		5					9				141	218
ビジネスホテルニュー大浜	堺区大浜北町3-11-3	072-221-2515	142		33				50	4						229	320
堺サンホテル石津川	西区浜寺石津町西3-4-25	072-244-7771	106	2	2											110	112
コンフォートホテル堺	堺区竜神橋町1-5-1	072-233-7111	69		9	40		1								119	171
東横イン	堺区市之町東6-2-14	072-282-1045	96		8	8										112	126
ホテル1-2-3堺イン	堺区大町東4-2-30	072-233-0077	66		13	23										102	138
ホテルリバティブラザ	堺区翁橋町1-99	072-227-2941	27		23	3					1		1		2	57	95
スーパーホテル堺マリタイム	堺区大町西3-4-1	072-227-9000	99													99	99
ビジネスホテルなか	西区下田町26-26	072-264-0630	23		6		4									33	47
ビジネス三國ヶ丘リバティ	堺区向陵西町4-9-18	072-223-0300	15		2	2										19	23
ダイワロイネットホテル堺東	堺区新町5-13	072-224-9055	200		30											230	260
アパホテル	堺区戎島町4-28-6	072-225-6111	136	2	15											153	170
合 計			1339	175	546	105	17	2	55	12	57	0	3	2	12	2325	3294

2011年4月1日現在